

2

TICAD V

開催概要

アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development 略称 TICAD）は、平成 5 年以降、5 年に 1 回、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共催しています。第 5 回アフリカ開発会議（TICAD V）は平成 25 年 6 月 1 日（土）から 3 日（月）に横浜で開催されました。

The Tokyo International Conference on African Development (TICAD) has been initiated by the Government of Japan and organized by the United Nations, the United Nations Development Programme (UNDP), the World Bank, and the African Union Commission (AUC) every 5 years since 1993.

TICAD V was held in Yokohama, Japan, on June 1-3, 2013.

▶ 開催概要	006
▶ 会期中に横浜市が関わった主なプログラム	012
▶ 横浜市の取組の基本的考え方	022
▶ 推進体制	023

開催概要

第5回アフリカ開発会議 開催概要

TICAD V Outline

アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development 略称 TICAD）は、アフリカの開発をテーマとする国際会議で、平成5年以降、5年に1回日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共催しています。

第5回アフリカ開発会議（TICAD V）は平成20年5月の第4回会議に続いて2回目の横浜開催となりました。また、第2回野口英世アフリカ賞授賞式及び記念晩餐会が併せて開催されました。

TICAD Vには、39名の国家元首・首脳級を含むアフリカ51か国、31か国の開発パートナー諸国及びアジア諸国、72の国際機関及び地域機関の代表、民間セクターやNGO等市民社会の代表等、前回は上回る約4,500名以上が参加し、我が国が主催する最大規模の国際会議となりました。

日程・主会場 ▶

平成25年6月1日（土）～3日（月）

パシフィコ横浜

会議日程 ▶

		5月31日（金）		6月1日（土）	
		TICAD V 議事	市主催・協力等	TICAD V 議事	市主催・協力等
午前	閣僚級事前会合		TICAD V アフリカ・シンポジウム開会式 駐日ベナン共和国大使による演説 横浜市会本会議場（大統領メッセージ代読）	【写真撮影】 【開会式】 【全体会合1】 TICAD20周年とOAU50周年 【全体会合2】 強固で持続可能な経済	WFP 事務局長と市長との面会
	昼		横浜市会議長主催ベナン共和国大統領歓迎昼食会		第2回野口英世アフリカ賞横浜市長主催昼食会
午後			シンポジウム「女性の活躍と経済成長」 マラウイ共和国大統領と市長との面会 アフリカン・フェア 2013 セレモニー／レセプション	【全体会合3】 民間との対話	第2回野口英世アフリカ賞受賞者歓迎式典 《配偶者プログラム》 「アフリカの女性と子供の健康のための日本の技術紹介」 国際シンポジウム「エイズを考える：アフリカと日本の共通課題」 UN Women 事務局長代行と市長との面会
	夜	総理・横浜市長共催歓迎レセプション		第2回野口英世アフリカ賞授賞式・記念晩餐会（市長出席）	



安倍総理による開会宣言（提供：外務省）
Prime Minister Abe's address at the opening session



開会式（提供：外務省）
Opening session

		6月2日（日）		6月3日（月）	
		TICAD V 議事	市主催・協力等	TICAD V 議事	市主催・協力等
午前	【テーマ別会合】 （同時並行開催）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発の原動力としての民間セクター、貿易と投資 2. 成長のための基盤整備 3. ポスト MDGs に向けて 4. ジェンダー平等と女性のエンパワメントを通じたアフリカ開発の推進 5. 平和構築の強化 	《配偶者プログラム》 農業視察	【全体会合6】 テーマ別会合報告・総括	ボツワナ共和国通商産業大臣と市長との面会
	◆会合4において市長がシンポジウムの成果を報告			【閉会式】 横浜宣言 2013・横浜行動計画 2013-2017 採択	
昼			《配偶者プログラム》 安倍総理夫人主催昼食会		
午後	【全体会合4】 平和と安定	【全体会合5】 包摂的で強靱な社会	《配偶者プログラム》 書道パフォーマンス	【宮中茶会】	タンザニア連合共和国大統領来浜記念「ジャカランダ植樹式」
			《配偶者プログラム》 つまみかんざし作り		
夜	TICAD 公式晩餐会 （総理（議長）主催）		FAO 事務局長と市長との面会		



全体集合写真 (提供: 外務省)
Photo session



全体会合 (提供: 外務省)
Plenary session



テーマ別会合4 「ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを通じたアフリカ開発の推進」 (提供: 外務省)
Thematic Session 4: Driving African Development Through Gender Equality and Women's Empowerment



テーマ別会合5 「平和構築の強化」 (提供: 外務省)
Thematic Session 5: Enhancement of Peacebuilding



TICAD 公式晩餐会 (提供: 外務省)
TICAD official banquet



安倍総理による閉会宣言 (提供: 外務省)
Prime Minister Abe's address at the closing session



共同会見 (提供: 外務省)
Joint press conference



宮中茶会 (提供: 外務省)
Tea at Imperial Palace

会議概要 ▶

「躍動するアフリカと手を携えて (Hand in Hand with a More Dynamic Africa)」を基本メッセージとし、TICAD Vの主要テーマである「強固で持続可能な経済」、「包摂的で強靱な社会」、「平和と安定」に沿って、今後のアフリカ開発の方向性について活発な議論が行われました。また、民間セクター主導による成長の重要性を反映し、アフリカ首脳と日本の民間企業の代表が直接対話を行う「民間との対話」セッションが、今回の TICAD 全体会合で初めて実施されました。

本会合は安倍総理とハイレマリム・エチオピア首相 (AU 議長) が共同議長を務めました。また、我が国の現職総理として最初にアフリカを訪問した森 元総理が TICAD IV 同様、全体会合の共同議長代理を務めました。

会議の成果として、今後のアフリカ開発の方向性を示す「横浜宣言 2013」(156 ページ参照)、及び今後 5 年間の TICAD プロセスの具体的取組を示すロードマップである「TICAD V 横浜行動計画 2013 - 2017」(160 ページ参照) が採択されました。

開催概要

TICAD V ロゴ

TICAD V Logo

概要 ▶

横浜市は TICAD V 横浜開催の PR を目的に、開催都市として「TICAD V ロゴ」のデザインを外務省に提案し、日本政府ほか共催者により決定されました。

日本政府（外務省）をはじめとする共催者並びに開催都市である横浜市が使用申請窓口となり、TICAD V の趣旨に賛同する民間事業者、NGO、市民団体等は無償で提供しました。103 団体が使用し、うち 53 団体は横浜市が受け付けました。

内容 ▶

- ・TICAD I から使用しているアフリカ大陸のデザインに、第 5 回を意味するローマ数字の V を重ね合わせたものです。
- ・V の上への広がり、V から連想される Vibrant, Vigorous, Vitality といった、いずれも「活気に満ちている」という意味を持つ言葉が、昨今の成長著しいアフリカの活力と未来への希望を表現しています。
- ・V の上への広がり、持続可能な発展や幅広いアフリカ開発に携わる関係者との連携の可能性を表します。
- ・TICAD IV のロゴでも使用した「赤、緑、黄」の 3 色は、多くのアフリカ諸国の国旗に使われており、赤は団結、黄は肥沃な大地、緑は農業、森林などを表します。



TICAD V ロゴ (カラー)
TICAD V Logo (Color)



TICAD V ロゴ (モノクロ)
TICAD V Logo (Monochrome)

開催概要

一般参加イベント

Events open to the Public

概要 ▶

アフリカ各国の首脳他が出席する本会議に加え、一般参加可能なイベントやセミナー等も開催されました。

外務省の公募による「公式サイドイベント」は、5月31日（金）から6月3日（月）まで、パシフィコ横浜アネックスホールで開催され、47件のセミナー、シンポジウムに約8,000人が参加しました。

また、「公式イベント」及び「国際機関等によるセミナー、シンポジウム」は、5月30日（木）から6月3日（月）まで、パシフィコ横浜展示ホール等で開催され、約60,000人の来場、参加がありました。

アフリカ首脳を含む会議参加者も多くのイベントに参加し、市民との交流の場となりました。



アネックスホール
Annex Hall

開催概要

宿泊関連業務

Accommodation

概要 ▶

会議参加者の宿泊施設の確保、配宿を円滑に進めるため、日本政府が「宿泊予約センター」を設置しました。

横浜市は、開催都市として、同センターの業務が円滑に進むよう支援を行いました。

内容 ▶

- 1 宿泊予約センターの業務内容
 - (1) 宿泊施設との連絡・調整、客室の確保
 - (2) 参加者への宿泊施設の斡旋、予約代行、客室割振り、精算
 - (3) 宿泊予約受付サイトの作成・運営・管理
 - (4) 宿泊客へのサポート業務を行うためのデスクの設置
 - (5) 宿泊施設へのサポート通訳派遣 等
- 2 宿泊予約センターを通じた配宿
 - 12 ホテル、延べ約11,000室泊